

## 2014 全日本社会人新体操選手権大会 最終レポート

長野県松本市総合体育館で10月4日～5日に開催されました。

本年度は、非常に参加者も多く、全日本新体操選手権大会への出場権利を掛けた選手たちの熱い戦いあり、2部・3部の新体操愛好家の楽しい演技など会場一体となった大変素晴らしい大会となりました。

男子団体1部4チーム、2部1チーム、女子団体1部1チーム、3部団体10チーム、男子個人1部17名、2部6名、女子個人1部6名、2部61名の大会以上最大の参加者数となりました。

### 【男子】レポート

1部は全日本出場を目指します。2部は社会人大会特別ルールにより、高得点3種目の合計得点で総合順位が競われます。3部団体は女子のみで、チーム対抗戦で2名以上の自由選択、手具も自由選択です。厳しいルールに縛られることなく、芸術的な新体操を目指して特別ルールにより競われます。

男子1部個人では優勝した弓田速未選手（国土舘RG）、2位竹内佑真選手（半田スポーツクラブ）、3位佐々木智生選手（相模原市体操協会ひかり新体操教室）と大学卒業1年目の若い選手が独占しました。全日本選手権大会への出場権利を獲得した6位以内の7名の選手全員が全日本選手権大会で上位入賞が期待できると思います。

男子団体でも1部に出場した4チームが全日本上位レベルの難度で混戦となりましたが、実施で安定した演技を披露したRe:makeがアルフレッサ日建産業の4連覇を阻止し優勝を果たしました。

全日本新体操選手権大会には優勝したRe:makeと準優勝のアルフレッサ日建産業が出場します。

記載者 白井 俊範

### 【女子】レポート

女子1部も全日本選手権大会に通じるため、高いレベルの厳しい戦いとなりました。1位は中澤 歩選手（ポーラ☆スターRG）がダイナミックで思い切りの良い確実な演技を見せました。2位は糸川みなみ選手（NPOぎふ新体操クラブ）。3位は横山加奈選手の3名が社会人連盟から全日本選手権大会に推薦されました。団体1部はSENDAI RGチームが出場、ミスが少なく高得点をマークしました。

2部は今回31名が出場、元フェアリージャパンPOLAの遠藤由華選手が怪我を克服して復活。ボールの種目は優雅で繊細な演技を披露してくれました。会場には感動の涙と激励の拍手があふれました。

総合優勝は宿谷あゆみ選手（アミューズ新体操クラブ）安定した確実な演技で1位となりました。2位は濱口春菜選手（Wisteria）確実な難度の実施音楽と調和した演技を見せました。3位は清水花菜選手（日本女子体育大学OG）。今回は以前世界の舞台、全日本などで活躍した選手たちが出場して、レベルの高い戦いとなり、観客を魅了しました。

3部は社会人大会ならではの年齢を問わず名以上の団体戦で、最高50歳代の選手が出場、旧オリンピック選手も含め戦いました。構成は各チームに独創性があり、発想豊かな楽しい新体操を見せてくれました。今後も社会人になってからも新体操を愛好し続けて、この大会に多くの選手が参加し、日本の新体操発展に寄与してくれことを願っています。

記載者 高橋 衣代